

〇概ね5年で実施する取組

具体的な取組の柱 事項 具体的な取組項目	目標時期	取組機関										地域住民
		留萌開発建設部	地方気象台	北海道	天塩町	豊富町	幌延町	消防	警察	自衛隊	JR	
1. ハード対策												
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策												
① 堤防整備等(雄信内地区等)	～平成32年度	○		○								
■危機管理型ハード対策												
① 堤防天端の保護、堤防法尻の補強(天塩地区、幌延地区、間寒別地区)	～平成32年度	○										
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備												
① 住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	平成28年度から実施	○										活用
② 洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	平成29年度から実施	○										活用
③ 高齢者等に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討し、現在行っている情報伝達手段と合わせて運用することにより、充実を図る。	平成28年度から検討実施				○	○	○					活用
④ 水防拠点の整備(幌延地区)	～平成32年度	○										
⑤ 危機管理型水位計の整備	平成30年度から実施	○		○								
2. 広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組み												
■情報伝達、避難計画等に関する事項												
① 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへ反映	～平成30年度				○	○	○					活用
② 町、道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討	平成28年度から実施	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
③ タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上	平成29年度から実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
④ 各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し	平成28年度から順次実施				○	○	○					
⑤ 農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	平成28年度から順次実施	○			○	○	○			○	○	活用・参加
⑥ 分かりやすい洪水予報伝文への改良	平成28年度	○	○									
⑦ 気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	～平成29年度		○									
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
① 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	平成28年度	○		○								
② 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知	平成29年度から実施	作成支援			○	○	○					活用
③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの作成と周知	平成29年度から実施	作成支援			○	○	○					活用
④ 小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	平成28年度から順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	参加
⑤ 関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を含めた訓練の実施	平成29年度から実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	参加
⑥ 防災無線やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	引き続き実施	○		○	○	○	○	○	○			活用
3. 長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組み												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項												
① 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	引き続き実施	○		○	○	○	○	○	○	○	○	参加
② 関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施	引き続き実施	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
③ 迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえた、水防資機材の一時的な保管場所を検討の上、充実を図る	引き続き実施			○	○	○	○	○	○			
④ 的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る	平成28年度から実施				○	○	○	○	○			参加
⑤ 自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	引き続き実施			○	○	○	○				○	
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項												
① 浸水想定区域内の拠点施設(警察、病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進	引き続き実施				○							
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組み												
① 想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	平成28年度から順次実施	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
② 訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害時要請に係る関係機関との調整方法について確認	引き続き実施	○		○	○	○	○	○	○		○	

項目、事項、内容	課題の対応	留萌開発建設部		地方気象台		北海道		天塩町		豊富町		幌延町	
		業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項													
① 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	D	公表済み	平成28年度			浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図を作成し、関係自治体に提供(宗谷)	平成30年度から実施						
② 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知	D	町のハザードマップ等の作成支援を行う	～平成30年度					新たな浸水想定に基づくハザードマップの作成	平成29年度から実施	新たな浸水想定に基づくハザードマップ等の見直し	平成30年度から実施	新たな浸水想定に基づくハザードマップの作成	平成29年度から実施
③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまごまごハザードマップの作成と周知	D	町のハザードマップ等の作成支援を行う	～平成31年度					新たな浸水想定に基づく、まごまごハザードマップの修正検討する	平成30年度から実施	新たな浸水想定に基づくハザードマップを適宜更新する	平成30年度から実施	新たな浸水想定に基づく、まごまごハザードマップの修正検討	平成29年度から実施
④ 小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	A,I	教育素材を作成し、防災教育の支援・実施をしていく	平成28年度から実施	旭川地方気象台と留萌振興局を中心とした防災教育の推進チーム「るもい防災教育ネット」の設置による天塩町区域内における防災教育の支援(留萌・宗谷)	平成28年度から実施	旭川地方気象台と留萌振興局を中心とした防災教育の推進チーム「るもい防災教育ネット」の設置による天塩町区域内における防災教育の支援(留萌・宗谷)	平成28年度から実施	社会科副読本を活用した、洪水状況と災害についての授業の検討	平成28年度から検討	現在、実施されている防災教育の促進を図るため、教育委員会を通じ積極的に情報提供を行う	平成28年度から実施	防災意識向上のため、防災フェスティバルや避難訓練への参加呼びかけ	平成29年度から実施
⑤ 関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を含めた訓練の実施	A,D,F,I	避難時の水防災に関する意識向上のための講習会を実施	平成29年度から実施	関係機関と協力して対応する。	平成29年度から検討実施	関係機関と協力して対応する。(留萌・宗谷)	平成29年度から検討実施	避難時の水防災に関する意識向上のための講習会及び訓練を実施	平成29年度から検討	避難時の水防災に関する意識向上のための講習会及び訓練を実施	平成29年度から実施	避難時の水防災に関する意識向上のための講習会及び訓練を実施	平成29年度から実施
⑥ 防災無線やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	A,D,I	HP等を活用した情報提供により広報の充実を図る	引き続き実施			HP等を活用した情報提供により広報の充実を図る。(留萌)	引き続き実施	HP等を活用した情報提供により広報の充実を図る	引き続き実施	HP等を活用した情報提供により広報の充実を図る	引き続き実施	HP等を活用した情報提供により広報の充実を図る	平成28年度から実施
3. 長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取り組み													
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項													
① 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	L	毎年出水期前を基本に重要水防箇所等の共同点検を行う 整備状況を確認し、毎年重要水防箇所の見直しを行う	引き続き実施			共同点検に参加する。(留萌) 毎年、出水期前に重要水防箇所の見直しを行う。(留萌) 毎年出水期前を基本に重要水防箇所等の共同点検を行う(宗谷) 整備状況を確認し、毎年重要水防箇所の見直しを行う(宗谷)	引き続き実施	毎年出水期前に重要水防箇所等における共同点検に参加する	引き続き実施	毎年出水期前に重要水防箇所等における共同点検に参加する	引き続き実施	毎年出水期前に重要水防箇所等における共同点検に参加する	平成28年度から実施
② 関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施	J,K,N	関係機関と調整し、水防訓練の実施又は参加をする。	引き続き実施			水防訓練に参加する。(留萌・宗谷)	引き続き実施	水防訓練に参加する	引き続き実施	関係機関・地元住民と連携した水防訓練の実施を検討する	平成29年度から実施	水防訓練に参加する	平成28年度から実施
③ 迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る。	M	必要な量・地域を検討し、水防資機材の整備を進める。	平成28年度から実施			水防資機材の充実を図る(留萌・宗谷)	引き続き実施	水防資機材の充実を図る	平成30年度から検討	水防資機材の充実を図る	平成29年度から実施	水防資機材の充実を図る	平成28年度から実施
④ 的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る	N							消防団の拡充推進を検討する 拡充に時間がかかる場合は、水防活動の実施に際し、消防組合に協力を依頼する	平成28年度から実施	稚内地区消防事務組合豊富支署と連携して団員の確保に努める	平成28年度から実施	北留萌消防組合幌延支署と連携し、団員の確保に努める	平成28年度から実施
⑤ 自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	N					自衛隊等との情報を共有するとともに災害派遣要請に係る調整方法の確認を支援(留萌・宗谷)	平成28年度から実施	自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	平成28年度	自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	引き続き実施	自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認する	平成28年度から実施
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項													
① 浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進	D,E							浸水想定区域内の拠点施設に対し情報提供をし耐水化の検討	平成29年度から検討	浸水想定区域内の拠点施設に対し情報提供をし耐水化の検討	引き続き実施	浸水想定区域内の拠点施設に対し情報提供をし耐水化の検討	平成28年度から実施
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み													
① 想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	G,O,P	既設排水系統等に係る情報共有 氾濫域を考慮した排水計画の作成	～平成30年度			氾濫域を考慮した排水計画の作成を支援(留萌・宗谷)	～平成30年度	既設排水系統等に係る情報共有 関係機関と共同して、排水計画を作成	～平成30年度	既設排水系統等に係る情報共有 関係機関と共同して、排水計画を作成	～平成30年度	既設排水系統等に係る情報共有 関係機関と共同して、排水計画を作成	平成28年度から実施
② 訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	P	水防連絡協議会等を活用し、毎年体制を確認する	平成28年度から実施			水防連絡協議会等を活用し、毎年体制を確認する。(留萌・宗谷)	引き続き実施	災害対策車等の出動要請手順について確認 関係機関と共同して、体制を確認する 関係機関と連携した排水訓練の検討	平成29年度から実施	災害対策車等の出動要請手順について確認 水防連絡協議会等を通じ、毎年体制を確認する	平成28年度から実施	災害対策車等の出動要請手順について確認 関係機関と連携した排水訓練の検討	平成28年度から実施

項目、事項、内容	課題の対応	消防		警察		自衛隊		JR	
		業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
① 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	D								
② 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知	D								
③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまごことまちごとハザードマップの作成と周知	D								
④ 小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	A,I	・自治体等が開催する水災害避難訓練や防災教育・講習会等への支援・参加(北留萌)	引き続き実施	・小学校における防災講話の実施。	引き続き実施	・自治体等が実施する訓練に参加(3普連) ・自治体等が開催する水災害避難訓練や防災教育・講習会等への支援・参加(26普連)	検討中 引き続き実施	・自治体等が開催する水災害避難訓練や防災教育・講習会等への支援・参加	平成30年度から実施
⑤ 関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を含めた訓練の実施	A,D,F,I	・自治体等が開催する水災害避難訓練や防災教育・講習会等への支援・参加(北留萌)	引き続き実施	・各自治体等が主催する防災訓練に参加する。	引き続き実施	・自治体等が実施する訓練に参加(3普連) ・自治体等が開催する水災害避難訓練や防災教育・講習会等への支援・参加(26普連)	検討中 引き続き実施	・自治体等が開催する水災害避難訓練や防災教育・講習会等への支援・参加	平成30年度から実施
⑥ 防災無線やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	A,D,I	・必要に応じて現状の情報伝達体制を強化・改良(北留萌)	引き続き実施	・ミニ広報紙や各種イベント時に街頭啓発を行う。	引き続き実施				
3. 長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項									
① 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	L	・共同点検に消防側に要請があれば参加する。(北留萌) ・豊富町との連携を図る。(稚内地区)	平成29年度から実施	・関係機関と連携し、重要水防箇所の周知徹底を図る。	引き続き実施	・点検結果の共有(3普連) ・留萌開発建設部等の実施する、重要水防箇所の見直し状況及び共同点検の成果を確認(26普連)	検討中 平成30年度から実施予定	・共同点検に参加する	平成30年度から実施
② 関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施	J,K,N	・水防、防災訓練等があれば参加する(北留萌) ・豊富町との連携を図る。(稚内地区)	平成29年度から実施	・各自治体等が主催する防災訓練に参加する。	引き続き実施	・訓練に参加(3普連) ・各自治体等が実施する防災訓練等に参加(26普連)	検討中 引き続き実施	・水防訓練に参加する	平成30年度から実施
③ 迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る。	M	・水防資機材等の保有はしておらず、消防ポンプ車、小型ポンプ、軽可搬ポンプ等の点検整備。(北留萌)	引き続き実施			・水防器材の保有状況を確認及び情報共有(3普連) ・各自治体等の保有する水防資機材等の保有状況を、留萌開発建設部等より確認(26普連)	検討中 平成30年度から実施予定		
④ 的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る	N	・消防団員の募集・指定の促進を図る。町村職員を消防団員に募集の実施。(北留萌)	引き続き実施						
⑤ 自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	N					・洪水または浸水地域による被害の情報提供(3普連) ・自衛隊の災害派遣に関する調整要領等について情報提供(26普連) ・状況により、留萌振興局及び各自治体の災害対策本部等に連絡幹事を差出(26普連)	検討中 引き続き実施		
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項									
① 浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進	D,E								
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み									
① 想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	G,O,P	・消防ポンプ等の資機材搬送ルートの協議・設定。(北留萌) ・豊富町との連携を図る。(稚内地区)	平成29年度から実施	・水害を含めたあらゆる災害事象について、各関係機関の防災担当者情報共有し、連絡体制の確立を図る。	引き続き実施	・水防資機材搬送ルートの情報共有(3普連) ・各自治体等の作成した排水計画を確認(26普連)	検討中 平成30年度から実施予定		
② 訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	P	・関係機関と調整し、排水訓練に参加する。(消防ポンプ車、小型ポンプ等)(北留萌) ・豊富町との連携を図る。(稚内地区)	平成29年度から実施			・訓練研修への参加(3普連)	検討中		